

2023年8月14日

報道各位

一般社団法人東京ビエンナーレ

**【告知協力をお願い】東京ビエンナーレ2023注目プロジェクト
私たちの川をきれいにしたい、という地元の声が生んだアート企画
「天馬船プロジェクト2023/日本橋川」が始動！
寄付1,000円で一艘が参加できるミニチュア船タイムトライアルを通じ
都市の水辺の魅力と課題を知り、未来に活かす機会へとつなげます**

東京ビエンナーレは、東京のまちを舞台に2年に1度開催する国際芸術祭です。
国内外から幅広いジャンルの作家やクリエイターが集結し、アートの力で東京のまちの歴史や
人々の営みを、今を生きる人々とこれからの東京へと伝え、つなげていきます。

<https://tokyobiennale.jp/>

第2回となる東京ビエンナーレ2023のテーマは、「リンケージ つながりをつくる」。
芸術祭の全てのプロジェクトは、参加アーティストをはじめ、地域で暮らす方々や企業、研究者
が、それぞれの知見や資材、時間等を持ち寄り、交流しながら、作り上げられます。
その注目企画のひとつ、「天馬船プロジェクト2023/日本橋川」が始動いたしました。

天馬船プロジェクトは地元の川をきれいにしたい、という方々の声から生まれたコミュニティアート
プロジェクトです。富山県氷見市で活用されてきた、伝統的な手こぎの小型木造和船「天馬船」を
模した、長さ約30センチの「ミニ天馬船」一万艘が川の流れにまかせて進む景色をお楽しみ頂け
ます。ミニ天馬船は杉の間伐材で作られており、タイムトライアル後には回収・洗浄して再利用し
ます。どなたでも1,000円の寄付につきミニ天馬船1艘を登録してタイムトライアルのタイムトライ
アルにもご参加いただけます。

前回の東京ビエンナーレ2020/2021では、神田川にたくさんのミニ天馬船を浮かべてタイムトラ
イアルを行い、6,500人の方にご参加いただいたほか、オンライン配信含め多くの方々にその様
子をご覧いただきました。ご参加者からは下記のご感想を頂いております。

- ・家族みんなで楽しませていただきました。ちょうど、長男が学校で神田川を綺麗にする活動など
しておりまして、彼も大変興味を持って観覧しておりました。
- ・東京の河川はとても素敵だと思います。もっと身近に親しめる水辺になったらいいなと思い参加
させていただきました。来年は仲間も誘いたいと思います。
- ・当日は雨模様で残念でしたが、わくわくして実況中継を観ました。催しが広がり、東京の川が
もっと身近で楽しい場所になれば嬉しいです。次回も参加します。

今年は日本橋川を舞台に「天馬船プロジェクト2023/日本橋川」を開催いたします。

現在、東京都の下水道の8割で、合流式下水道という仕組みがとられています。この合流式下水道は、施工が容易で経済的であるというメリットがある一方、生活排水がそのまま川に流れ込むため、水質の汚濁という問題もあります。河川の水質汚濁に加えて、川に背を向けるようにビルが立ち並び、水辺が活かされていないという問題意識から、このプロジェクトは始まりました。

タイムトライアルの開催には、東京都や千代田区、中央区など行政や舟運に関わるみなさまの許可とご協力を、そして、船の運搬とタイムトライアル後の船の回収・洗浄には、地域住民の方々をはじめとしたプロジェクト参加者・参加企業のみなさまにご協力をいただきます。タイムトライアル開催～後片付けまでの共同作業の中で、川の周りに地域の方々・参加企業・行政のつながりをつくり、みんなで現在の川の汚れを知り、水辺を活かす都市構造を考える機会にしたいと思っております。

この「天馬船プロジェクト2023/日本橋川」では、一口**1,000円**からのご寄付というかたちで、好きな名前の旗を立てたミニチュア船によるタイムトライアルに参加してくださる方々を募集いたします。



東京ビエンナーレ2020/2021での「天馬船プロジェクト2021/神田川」実施風景 撮影:ただ(ゆかい)

【募集期間】 2023年7月23日(日)～9月24日(日)

【募集ページ】

<https://tokyobiennale.jp/tb2023/news/call-for-tenmasen-project-2023-time-trial/>

タイムトライアルタイムトライアルの参加登録費は、到着順に応じた記念品贈呈や伝統的な天馬船制作などの運営費を除き、川辺の活性化・浄化活動を行う団体への寄付などに活用する予定です。

日本橋川だけでなく、全国の河川浄化・水辺を活かす都市づくりに利用していただける枠組みですので、ぜひ告知にご協力をお願いいたします。

【告知のご協力・ご取材に関するお問い合わせ】

一般社団法人東京ビエンナーレ(広報担当:若林、岩本、秋山)
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-12-5 長谷川ビル2階
TEL 03-5816-3220 / FAX 03-5816-3221
Email pr@tokyobiennale.jp
Webサイト <https://tokyobiennale.jp/>

◆東京ビエンナーレ2023 天馬船プロジェクト

開催期間・会場

- 天馬船展示
期間:2023年9月23日(土)~11月5日(日)
会場:エトワール海渡(東京都中央区日本橋馬喰町1-7-16)
- タイムトライアル実施
日時:2023年10月1日(日) 8:00頃スタート予定(調整中)
※荒天時10月15日(日)へ延期
会場:日本橋川(タイムトライアルは常盤橋~日本橋間にて実施)

アーティスト・メンバー:「天馬船プロジェクト2023/日本橋川」実行委員会、外濠市民塾、東京スリパチ学会、名橋「日本橋」保存会、その他、水辺に関わる街づくり団体、舟運・観光船関係者、河川環境保護団体、市民ボランティア、企業等とリンケージを生成中

参考:東京ビエンナーレ2023《天馬船プロジェクト2023/日本橋川》WEBサイト
<https://tokyobiennale.jp/tb2023/linkage/tenmasen-project-2023-nihonbashi-river/?lang=ja>

主催 一般社団法人 非営利芸術活動団体コマンドN
共催 「天馬船プロジェクト2023/日本橋川」実行委員会、一般社団法人東京ビエンナーレ
協賛 三井不動産株式会社、三菱地所株式会社
協力 外濠市民塾、東京スリパチ学会、名橋「日本橋」保存会、日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会、東京海洋大学清水悦郎研究室、株式会社チョッパー、株式会社サカモト(2021年度に天馬船製作)

■天馬船プロジェクト2023/日本橋川 とは...

プロジェクトの始まりは富山県氷見市でのこと。天馬船(てんません)とは、この地域で活用されてきた伝統的な手こぎの小型木造和船です。やがてFRPなど新素材による現代的な船がこれに代わっていきませんが、2006年に始まった「天馬船プロジェクト」は間伐材を使った約千艘の「ミニ天馬船」に一艘千円で寄付してもらい、上庄川の流れてタイムトライアルを行いました。さらに、集まった寄付金などで地元の船大工さんにより、実際の天馬船が二艘完成。桜の季節には遊覧体験が行われるなど、氷見の和船の魅力を伝える貴重な文化資源となっています。

この取り組みが、2021年の東京ビエンナーレにおける「天馬船プロジェクト2021/神田川」につながりました。ここでは東京の水辺の価値を人々が改めて体験し、折しも新型コロナが社会に大きな影響を与えた時期、疫病退散の願いも込め、たくさんのミニ天馬船が川面を彩りました。今回の「天馬船プロジェクト2023/日本橋川」はこれらに続く形で、やはり東京の重要な水辺である日本橋川を舞台に、新たなつながりを生み出すものです。

■お問い合わせ：
一般社団法人東京ビエンナーレ
TEL:03-5816-3220 FAX:03-5816-3221
メール:info@tokyobiennale.jp

以上